

# Fellow Hermit

フェロウ  
ハーミット

ino  
鍋亭

inoshishi

Do not  
R18 only







…分かります  
初めて私が王子様に  
お会いした時も

向けてくれた笑顔ですから



照れなくてもいいわよ  
戦ってる王子もかっこいいけど  
戦いが終わった後の笑顔は  
つい見惚れちゃうもの



あのとき わたしは  
別のところについて  
同行できなかったから  
詳しく知らないのだけど

フィオレさんの故郷を  
王子が助けたのよね？  
ちょうど今日の戦い  
みたいな人助けで

はい 私の故郷…神樹の隠れ里が  
魔物に襲われたところを  
王子様と皆様に救って頂きました



あはは 昔のわたしだったら  
王子と馴れ合っちゃいけない  
って斜に構えて そっと  
消えてるところだけど…

隠れて見るだけの辛さは…  
今のわたしにはもう  
隠すことができないから



そういえば 今日助けた  
村の人達がお礼におゆはんを  
もてなしてくれるみたいよ？

ポア肉パーティーだって

……

サヨ様は参加されるのですか？



…私は逆です  
王子様が眩しすぎて…  
隠れて見ていないと  
辛すぎます

そもそも戦いの最中に  
隠れてばかりの私に  
仲間と祝勝の詞を言う資格も

言われる資格も  
ないのですから



私はずるい女です  
王子様のために戦うと  
故郷を出たのに  
少しも変わっていない

私は結局 王子様の陰に  
隠れるだけ  
果たして私に仲間を名乗る  
資格があるのでしょうか



…無力感ってやつ  
わたしにも分かる

わたしも王子たちの戦いを  
見ながら ずっと  
感じてたから…

サヨ様…

わたしはね まあ色々あって  
王子にぜんぶ  
打ち明けちゃったから…  
今は吹っ切れてるのよ

ズツ

フィオレさんにとっての  
最善がわたしと同じかは  
分からないけれど…

…いつか心に薄暗さ無く  
仲間と胸を張れるように  
なるといいわね

…仲間と

胸を張れる……

…イオレ!

フィオレ! 大丈夫か!?

おうじ…さま…?

ほや

えっ 王子様っ!?

よかった 晩餐を抜けて  
夜風に当たりに来たら  
こんな草むらにフィオレが  
いたから驚いたよ

まだ暖かい季節とはいえ  
夜中は冷える  
風邪をひいたら大変だ

あっ… 私ったら  
サヨ様と話した後  
そのまま居眠りを…

ハハ 前に自分で  
言ってたとおりフィオレは  
おっちょこちょいな  
ところがあるかもな

きっと今日の戦いの  
疲れが出たんだろう  
一緒にテントへ戻ろう

さあ 俺が背負って  
運んでいくから

私は…戦いでは  
隠れていただけです  
たくさん傷つかれた  
王子様に比べれば…

剣を揮えば傷を得るのは  
仕方ないさ  
けれどその分フィオレが  
癒してくれてる  
すごく感謝してるんだぞ

けれど…だからこそ私は  
貴方様に傷を負わせ

貴方様はいつもお優しく  
眩しい…  
本心からそう仰って  
くださるのだろうとは  
分かっていました…

陰に隠れるしかできない  
無力な自分が憎いです…



だったら！ いっそ戦場で  
私が身代わりに傷つけば……！

役に立つ立たないが仲間の  
基準じゃないさ  
それぞれ助け合う気持ちがあるから  
俺達は一つの仲間なんだ

そうすれば 私は憚りなく  
貴方様の手を取れるのにつ！



あ……  
違……  
違うんです！

こんなこと  
申し上げるつもりは  
なかったのに……！

今の私はおかしいです！  
こんな世迷言を――

打ち明けてくれて  
ありがとうフィオレ

キエツ

王子……様……？

フィオレはさ 気持ちを  
隠すのが上手くて  
俺はさ そういうのに疎くて

だからこうした  
素直な言葉は  
ありがたいよ

……俺もなんだ 俺も以前は  
フィオレと同じように思っていたんだ  
「皆の命を預けられた自分は  
皆よりも傷つかなきゃいけない」って

そんなふうになんか一杯で……  
だから気付けていなかったんだ  
逆に自分が皆を  
傷つけてしまっていることに

そんな！ 王子様に  
傷つけられたりなんて  
絶対ありません！

だけどフィオレは  
俺のことで自分を  
憎んで傷つけて  
しまっているだろう？

それに俺は  
皆に憎まれても仕方ない  
ことをたくさんしてるんだ

ッ……！

仲間を殺した敵を平然と  
仲間を迎える王子が憎い

故国の滅亡に間に合わず  
救えなかった王子が憎い

大怪我を負う原因となった  
誤った指揮を執った王子が憎い

きっと僕かでも 誰にでも  
あるんだと思う  
あって当然だと思う  
俺への憎しみは

俺のしてきたことを  
サヨに客観的に語って  
もらうまで  
俺は気付けていなかった

皆の胸にこびりついた  
それらの憎しみは……  
俺がたとえ がむしゃらに  
全ての戦いに勝利しても  
俺が誰より傷を得ても  
消せるものではないと思う

王子様……



だから 剣を揮うばかりの  
不慣れな俺だけど  
これからは皆の傷に  
向かい合って癒していききたい

誰かを癒す気持ちと  
誰かに癒してもらう安らぎは  
お前が俺に教えてくれた  
ものだから

今度は  
フィオレの傷を  
俺に癒させてくれ

…というのは  
ずるい言い方だったな  
すまない

いいえ… 私は  
ずるい女ですから  
そのくらいの方が  
丁度いいです

私も色々してきました  
王子様や…皆様に  
憎まれても仕方ない  
くらい

自分の里を守るため  
他国が滅びるのを  
静観しておきながら  
いざ自分の時は救いを願う

その後の贖罪のための戦いも  
結局は 貴方様を戦わせて  
自分は陰に隠れたままで

そして今また貴方様を  
自分の慰みに利用する…  
私はそういう…ずるい女なのです…

それでも王子様は私を  
貴方様の仲間と…  
そう扱ってくれるのですか…？



もちろんだ あの日  
お前と初めて会ったとき  
からずっと

フィオレは胸を張って誇れる  
俺達の仲間だ

だから これからもよろしくな  
頼りない王子だが  
お前や皆のために頑張るから



…王子様  
ちょっとだけ

ずるいお願いをしても  
いいでしょうか？

もちろんだ フィオレには  
どれだけ返しても足りない

でしたら借越なのですが…  
私の傷を癒すための  
とっても大事なお願いです

ずるい私が怯えて  
隠れてしまえないように…  
強く抱き締めてください

今宵だけでいいのです  
貴方様には隠さない私を  
見てほしいから…

フィオレ…



あっ王子様…  
首筋はだめです…

フィオレは花の香り  
がするな

もうっ みだりに  
女の匂いを嗅いでは  
だめなんですからね！

悪い いつもフィオレと  
すれ違うたび いい香りが  
するなと思っていただけから



お返しに私も王子様の  
香りを嗅がせてもらいます

実は以前から思っ  
ていたんです

王子様の…  
すごく故郷の花の  
香りに似ているのです



幼い頃 よくこうやって  
その花の蜜を吸って  
おやつ代わりにしたものです

すごく懐かしい  
気持ちになります…

どうなさったんですか？  
遠慮なさらずこのまま…

フィオレ…！

口にお出しく下さい



気持ち嬉しいが  
フィオレも一緒に  
良くならなきゃな



ここれが隠さない私です…  
どうぞ王子様のお好きなように

あ…王子様に  
全部見られて…



んっ  
王子様っ  
はげしっ…



もっと感じてくれ  
ファイオレ!

んああああっ  
奥まで…

深いです  
王子様あつ!



少しゆっくりにしてもいいか  
ファイオレ?

いいえ どうかもっと激しく…  
もっと深くまで…  
私のぜんぶを知ってください  
王子様…

分かった  
…いくぞ

んあああ

ギョッ



王子様が私の  
奥深くに届いているのを  
感じますっ……!

アッアッ

フィオレ……  
奥にいくぞっ  
いいか?

アッアッ



んあぁあぁあぁ

キュ

アッアッ

アッアッ

あぁあぁあぁ  
あぁあぁあぁ

アッ

アッアッ

…俺が全ての戦いに勝利して  
全ての傷を引き受けること…  
それが皆のためになると  
信じていた

けれど  
それだけでは  
皆に傷と憎しみを  
負わせるばかりで

きっといつか皆に…  
フィオレにも  
見放されていたと  
思うんだ

…王子様はお優しいけど  
意地悪です それなら  
私こそ皆様に見放されています

仲間になろうとして…  
そのことに囚われて  
自ら傷を得ようと  
していました

私は皆様に救われたとき  
人と繋がる温もりを知りました。  
ですから今度はその温もりで  
皆様の傷を癒したいです

隠れてばかりの私ですけど  
それが隠さない私の本心です

王子様！  
今すぐく皆様と一緒にいたいです  
ですから もう少ししたら  
私と一緒に戻ってくれますか？

ああ もちろん  
戻ろう皆のところ…  
仲間の許に！

Fin.

# -ATOOGAKI-

お世話になっております。inoshishiです。このたびはフィオレさんえちち本をお手に取って頂き、本当にありがとうございます！ パテルちゃん、リンネさん、ラピス様に引き続いて、またまた今回もえっちなマンガを描きました！ 今回のメイフはフィオレさん！ 実装されてから少し経っていますが、その淑やかな美しさは王子皆の知るところだと思います。またさらに橋掛け役として、おサヨちゃんにも活躍してもらいました！ おサヨちゃんは本当に特殊な立ち位置の子なのですが、フィオレさんとのかくれんぼコンビ相乗効果で、どちらの設定も魅力も120%引き出せるように頑張ってみました。（この二人だけで1冊丸ごと作れそうなくらい会話考えるのが捗ってしまいました）アイギス関連の同人誌もこれで4冊目。ゲームも、即売会も、長く長く続いてくれていることに感謝しきりです。こうして（えっちな）本を出すことで微力ながらその一助になればという思いです。さて今回のフィオレさんえちち本も、ラピス様本のあとがきで書いたように、今までの本からテーマがリンクしています。ラピス様本から「仲間」、アリシアちゃんペーパーから「愛憎」、とそれぞれから言葉遊びが繋がっていることにお気づきになったでしょうか？ 作品を重ねながらアイギスの世界観について、「英雄王とは何だろう？」という命題について、色々な方向から自分なりの想いを込めて描くことができているのが嬉しいです。また、この話の中で、フィオレさんは自分のしてきたこと、してこれなかったことについて、誰も責めてはいないのに自分で自分を追い詰めてしまっています。が、王子も、おサヨちゃんも、実は同じ傷を負っているのかもしれない。強い責任感と義侠心ゆえに、常に誰よりも自分で自分を傷つけている…。だからこそフィオレさんの悩みに敏感に気づくことができ、救えたし、…救われたのかもしれない。癒し癒されながら、相互に感化し合いながら一緒に成長していく関係を、「仲間」と三人はきっと答えるのでしょう。

イラストが本分なのでマンガはまだまだ上手く描けませんが、楽しんで読んで頂けてたら幸いです！





フィオレ...!  
大丈夫かっ

私は大丈夫です王子様っ  
ですからもっと深くまで  
突いてくださいっ!



わわっ!?!  
フィオレさんも王子も  
二人ともすごく  
必死な顔してる...



フィオレさんの  
アソコに

王子のオチ○チンが  
あんなに深く...  
気持ちイイのかな?  
気持ちイイわよね



必死に腰を振る  
二人を見てたら  
わたしも...

も...イっちゃ...  
あっ...あっ

Fellow  
Hermit2



おんああ、  
おうじさま

ん  
ん  
ん  
ん  
ん

ア  
ア  
ア  
ア  
ア

ア  
ア  
ア



二人より早く  
パーティー会場に  
戻らないと…!



いっ…ちゃったあ…  
わたし 二人が  
イクのと一緒に…

私と一緒に戻って  
くれますか  
王子様?

! わっ  
いけない



私も…少しずつ変わります  
皆様と胸を張って一緒に  
いたいから…  
そう思えるようになったのは  
サヨ様のおかげです



サヨ様 今日  
…本当にありがとうございました

フィオレさん



それでも  
ありがとうございます  
お優しくて清廉な  
サヨ様の心に感謝を

あ…あはは  
ありがとう



畏まってお礼なんて言わなくて  
いいわよ  
だって助けるのは当たり前前だもの

フィオレさんはとっくの昔に  
わたしの「仲間」なんだから!

Fin.

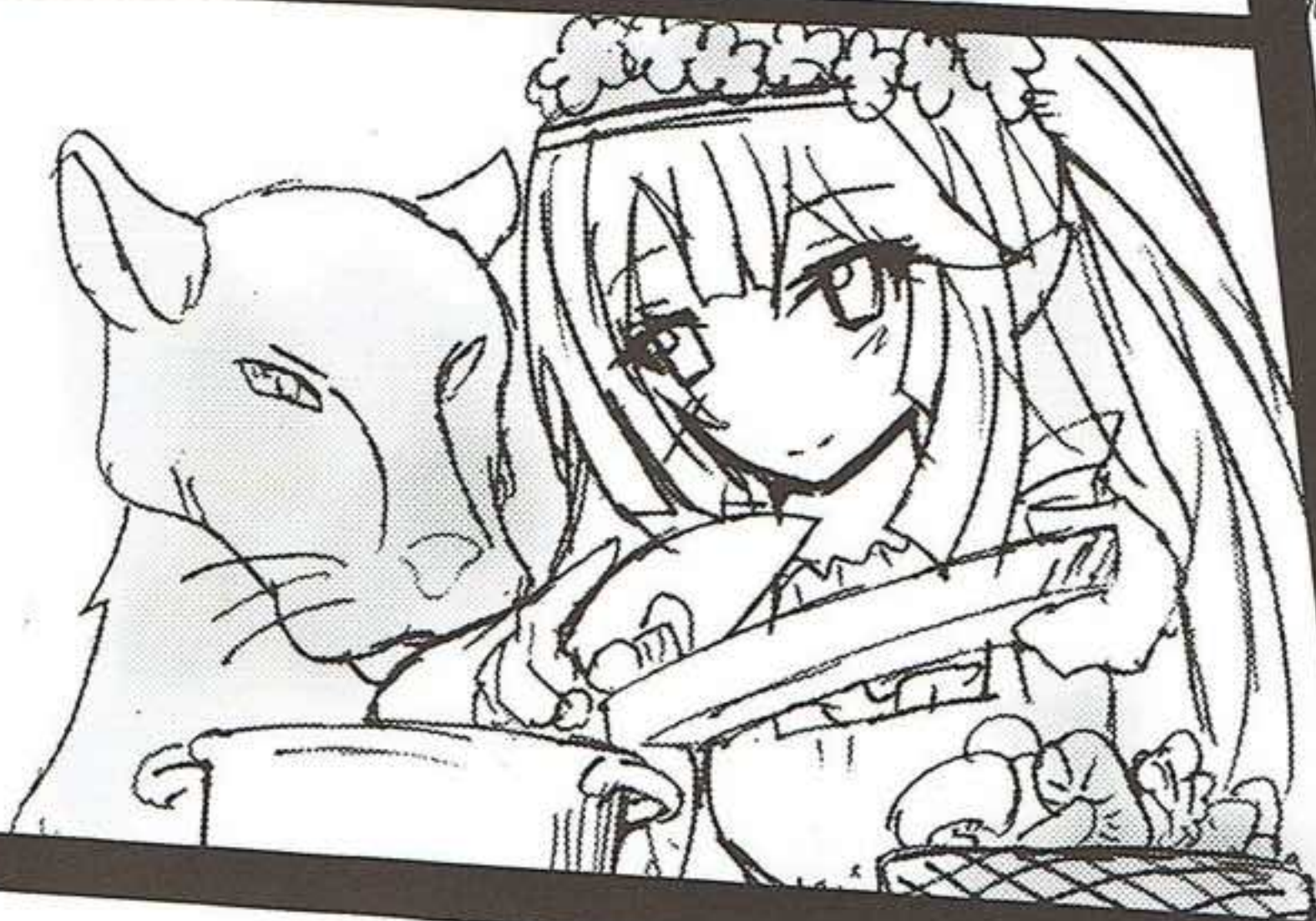
## スプラ

王国軍きってのキノコマエストロ。キノコのバターソテーに  
ホイル焼き、ストロガノフにクリームパスタ。どんなキノコも  
彼女の手には掛かれば芯まで美味しくしゃぶり尽くされてしまう。  
パシラやフウカと一緒に料理するときは、自然とキノコ・野菜  
料理の担当になる。チャームポイントの長い耳からも分かる通り  
種族はエルフであり、妖精の加護でちょっと毒が効きにくい体質。  
そのためうっかり自分の基準で食べれる山菜を使ってしまって、  
ごく稀に食あたり事件を起こしてしまうのが玉に瑕。魔界のキノコ  
もいつか料理にしてみたいと考えている。。また王国軍かくれんぼ  
選手権では、フィオレ・サヨと覇を争うほどの実力者。争いごとを  
好まない性格ではあるが、どうしてもこれだけは負けられない。



## ティファ

聖銀竜と共に戦場を駆ける最強の竜騎士。その称号は自分の  
実力ではなく親友のものと謙遜するが、竜とどれだけ心を  
重ねられるかもまた実力である。普段の姿は、甘え盛りの  
妹を世話する幼いお姉さん（ちがいます！おかあさんです！）  
といった風で、心身とも竜と一緒に成長している最中である。  
最近はお竜巫女エキドナの許をよく訪れ、竜の気持ちや  
トリミングの仕方を教えてもらっている。朝のお散歩コース  
は時々変えてあげるというアドバイスから、ふらっと  
海を渡り国境を越えてしまうことも。将来は、エキドナの  
ような聡明な女性、そして人と竜の橋渡し役になりたいと  
憧れている。何事も真面目に取り組む頑張り屋さん。



## テディス

自他ともに認める白「百合」騎士。パシラのごとが大好き。  
けれど可愛い女性、美しい女性もかなり好き。街ですれ違えば  
目で追うし、その服の下のボディラインまでしっかり想像する。  
ちょっと行動がオヤジ臭いことは自覚しているが、本能には  
逆らえない。趣味は大浴場での朝風呂。ペ、ペつに寝起きの  
無防備な表情と肢体を舐め回すように鑑賞したいからじゃないん  
だからね！ 王子のごとは最初嫌っていたが、実は今はそうでも  
ない。共にくぐりぬけてきた死線は数知れず。かけがえのない  
戦友として嫌いなままでいられるはずがない。涙も、笑顔も、  
辛さも、嬉しさも、同じだけ共有してきたのだ。実際のところ  
この胸を温める感情が仲間意識なのか友情なのか、ましてや  
恋愛感情なのか自分でも分かっていない。白百合騎士の  
悩みは尽きそうにない。

## パシラ

テディスのごとが大好きな獣人の射手。「スキ」の意味がテディスと  
自分との間で微妙に違う気がしているが、違わない気もしている。  
テディスが王子のごとを好きになってくれるのは嬉しいが、他の女性  
に目移りしてるのはちょっとだけ嫉妬ぎみ。胃袋を押さえてハートを  
捕まえておきたいところ。料理の腕前は一流シェフ級。得意なのは  
魚料理とデザート。スプラに前菜、フウカに肉料理を任せて、  
王国軍の狩人フルコースを支える料理長。王国軍では人間と獣人の  
仲は良好だが、世界ではまだまだ少数派。いつか共に暮らせる世界を  
夢見る。テディスとの戦闘コンビネーションは  
魔神の眷属すら圧倒する。





### フィオレ

神樹の隠れ里の次期女王。紛うことなきプリンセス。その奥ゆかしく清楚な立ち振る舞いは、まさに立てば芍薬。正統派お姫様タイプの彼女だが、押しの強いタイプの多い王子軍では、むしろ逆にお姫様と思われにくいところも。特技の植物の成長促進を用いて、品種改良を進めるのが趣味と実益を兼ねた専らの仕事。実りの多い穀物から、効能確かな薬草、果ては中毒性の高い草花まで、恣に生命を弄ぶ姿は植物の錬金術師と評される。控えめなマッドサイエンティスト。またもう一つの特技「隠者の聖域」は、身を隠したまま一方的に相手を攻撃できるほどの隠密能力を誇り、撤収時に味方にさえ気づいてもらえず置いていかれることがある。(自己主張が弱いのも多分に原因。)

だが同業のサヨだけはちゃんと気づく。

### コーネリア

光と闇が両方備わり最強に見える騎士。皆でワイワイやるよりは、ひとり窓辺に佇み月を見上げるのがカッコイイと思うお年頃。けれど凛然とした物言いの裏には、凄惨な過去の遍歴が秘められていて、精神的にも物理的にもかなり打たれ強くなった結果とも言える。実はバレンタインデーには王子の次にチョコをもらっているくらい女性に好かれる。同じ騎士であるデイスには恨みと羨みの視線を向けられるが本人も戸惑っている。とりあえず一緒にチョコを食べてもらって、相談に乗ってもらって、お返しを買うのにも付き添ってもらう。そういうところが無自覚ジゴロ。

### サヨ

義賊らしからぬ華やかさを備えた美貌の侠客。王子が王城を追われたときからずっと、ず〜っとその様子を陰から見続け、敵側に変装で紛れて幾度も相まみえてきた、重度のストーカー気質で被虐趣味の少女。重く、辛く、愛らしい。今は晴れて王国軍の一員となったので、監視というより監査の立ち位置。彼女がしたため続けている覚書と、神殿書記官の記録書を併せると、王国軍の表と裏、主体と客体、客観と主観を補完し合った無欠の史書になると言われている。剣技や武術は十人並みだが、魔物にさえ扮する洞察力は無比。軍議の非公式なアドバイザーとして陰から王子を支える、目立たぬ協力者。だが王子の危機には、如何な強敵の前にも果敢に立ちはだかる。



### エイミー

「信用は無形の財産」がモットーのうら若き武器商人。打算深い性格だと自分から言ってしまうくらいに誠実な性格。とはいえマネジメント能力は非常に高いので、誠実に商売してもしっかり利益を上げられる真の商人。稼いだお金は趣味のお酒(ぶどうジュースです!)に充てる。しかし飲み漁るタイプではなく、しっかり吟味した逸品を手製のおつまみと一緒にゆっくり味わうのが好き。なので王城の酒場より、自分が王子の部屋でとろんと耽っている姿が多い。呪いの武器事件の後、王国軍との取引はさらに密接となり、王子とはビジネス上でも、アフターファイブのプライベート上でも、「大人のお付き合い」をさせて頂いている。



# -OKUDUKE-

名称

フィオレさんえちち本『Fellow Hermit フェロウ・ハーミット』

発行

2017.11.04 inoshishi (ino鍋亭)

連絡

inoshishi41@gmail.com pixivID:1303816

印刷

ちこのしっぽ様

注意その1

本誌は成人向けです。18歳未満および  
高校在学中の方の所持閲覧を禁止します。(ごめんね!)

注意その2

本誌のアップロードおよび共有目的での  
複製、転載の全てを禁止します。



ino  
鍋亭

inoshishi

Adult  
R18 only